



朝夕は、肌身に秋を感じるころとなりましたが、
 日中は陰るどころかまだまだ、容赦なく照り付ける陽ざしが幅
 をきかせています。お手柔らかにお願いしたいものです。
 2学期もはじまり、子どもたちの元気な声が
 校舎に戻ってまいりました。



<暑さをものともせず咲きほこる百日紅>

夏季休業中は、地域で子どもたちをあたたく見守っていただき
 ありがとうございました。また、地域の皆様には、8月の
 資源回収に、多くの資源を提供していただき感謝と
 お礼を申し上げます。



<8月のプール>

■遊びをとおして非認知能力を身に付ける！

水の危険性を学んだうえで、水に慣れ、仲間と楽しく過ごす。

「貸してほしい～なあ・・・」―「いいよ」⇨ **折り合いをつけて遊ぶこと**を覚える。

※遊びを通して、人やもの、自然、出来事等に広く興味をもち進んでかかわる。

※言葉によって自分の思いを伝える等話すことを楽しむ。

⇒**幼児期の終わりまでに育ててほしい力の一つとして位置付けられています！**

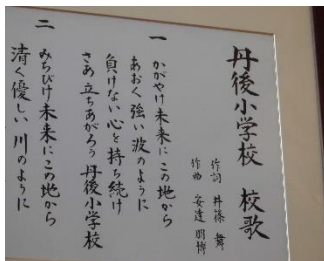
♡丹後こども園



♡宇川保育所



<8月29日 小・中学校2学期始まりました>



◆丹後小

整然とした中、体育館で行われました。
 元気と意欲が感じられました。



◆宇川小

校舎内をきれいにし
 て、2学期のスタート！もくもくと任務を
 果たしていました。

❖丹後中 始業式その他、夏季休業中に行われた諸大会の賞状伝達もありました。



3年生にとっては、最後の大会。すばらしプレーを見せた生徒たち、心と技を磨き続けてきた結果、賞状を得ることができました。結果を出す過程にしっかり目を向けることが大切です。



中学生となり、力を発揮する礎が幼少期から少しずつ、多くの人々とかかわりながら築かれてきたのですね。これから先も切磋琢磨し、希望する進路に向けて進んでください。

美術 作品を鑑賞、評価、**社会**(地理) 目で見てイメージ。教科学習指導のICTが活用され生徒に情報が一気に伝わり、鮮明な映像により理解が速くなることや貼りつけ作業の時間も大幅に削減でき、効率の良い授業が進行されています。

8月22日、丹後学園教職員は、

全体研修会として講演を聴きました！

演題「学力テストで測れない非認知能力を学校園で伸ばすために」

講師 岡山大学 中山芳一准教授



- 1 認知能力・・・読み、書き、計算等点数にできる力
- 2 **非認知能力・・・客観的な点数にできない力、忍耐力や自己抑制、思いやり、自尊心等**
- 3 予測していなかったことにでも適切に対応できる力が必要となってきた。 (世の中は目まぐるしい変化を遂げてきているため)・・・認知能力に加え、生きていく基盤を育むために、心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする“学びに向かう力、人間性等を身に付けることが重要とされる時代となってきた。
- 4 非認知能力を伸ばすには、注意して伸ばすより、ほめて伸ばすが楽！
- 5 学校では、目標とすることはより具体的に言語化していくこと
- 6 教師の子どもの評価は、「頑張ったね」でよいか？

※子どもの活動のプロセスの中を(◆の観点で)見取ること。

- ◆子どもが、**自分自身を高めようとしているか？**
- ◆子どもが、**自分自身と向き合おうとしているか？**
- ◆子どもが、**他者とつながろうとしているか？**

⇒大人たちが、見えやすい認知能力だけでなく、見えにくい非認知能力にも価値を置けば、子どもは自らその力を伸ばそうとする！



* 保幼小中、教職員全員 *

学んだことをもとに、2学期の教育実践に活かしていきたいと思えます。